

【資料編】

資料1 建て替えの必要性

(1) これまでの経過と建替の必要性

現施設は、昭和59年10月の稼働から25年が経過し、これまで安全、安定的な施設運営を念頭におき、安全操業の継続に努めてきました。操業にあたっては、運営協議会の操業協定基準値や各種法的基準値を遵守し、周辺環境などに配慮して参りました。また、施設整備についても、施設の安全かつ安定的なごみ処理を継続するために「予防保全」を念頭に実施してきました。特に、平成8～12年度に実施した基幹整備及びダイオキシン類削減対策工事により、焼却炉の部分改修、排ガス処理設備の電気集塵器からバグフィルタへの更新などを実施しましたが、これはダイオキシン類削減対策の他に、施設の安全、安定稼働を長期的に継続可能にするための整備でもあります。

しかし、この整備で全体更新ができなかったボイラや焼却炉の寿命は30年とされており、今後、ボイラや焼却炉など重要な設備の寿命を超えて使い続けた場合、故障頻度が増加し、排ガスの漏れや事故を起こす可能性も懸念されます。この場合、施設の長期的な停止が余儀なくされ、市民生活に大きな影響が生じることも考えられます。このような事態を起こさないようにするため、ごみ処理の安全、安定稼働を継続する観点から、新施設へのスムーズな移行をしていく必要があります。

さらに、現施設は25年前に設置されたもので、現在のプラスチック類の多くなった燃えやすいごみ質に施設の構造が合っていない状況があります。また、ごみ焼却による廃熱を市庁舎及び総合体育館などで利用していますが24時間利用されておらず、エネルギーの有効利用の面でも課題があります。そこで現在のごみ質に合わせた設計をするとともに、ごみ発電技術などを導入し、ごみ焼却熱の有効利用を図りCO₂発生量を削減し、地球温暖化対策に寄与していく必要があります。

(2) 建物を残して、設備を入れ替えることは可能か？

現施設の建物の寿命として、50年程度が想定されています。そのため、建物を残して、設備を入れ替えることができないかという疑問があります。建物を残して、設備を入れ替えることを「プラント(工場設備)更新」といいます。プラント更新といっても、30年使用した設備機器の更新となると、結局のところ、すべての設備機器を交換することになり、また、実際には建物のかなりの部分を壊さざるを得ないこととなります。さらに、ごみピット、灰ピットなどは現在の配置を変えることができないことや、建物内が設備ごとに壁で隔てられているため、各種設備の配置に制限があり、効率的な配置や能力変更などをすることが難しいとされています。

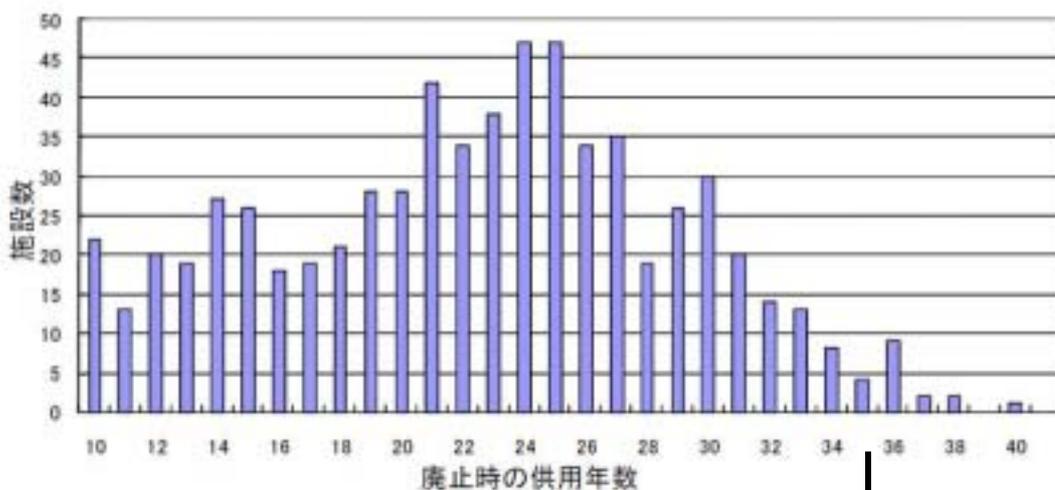
他にも、プラント更新では、防災拠点としての位置づけからの耐震性を1.25倍に割増すことが難しい状況です。さらにプラント更新工事は、施設を稼働しながら行うため、施設稼働への工事の影響が考えられます。工事により、配線の断線、誤操作などにより、突発的な施設停止が危惧されます。

プラント更新は、難易度も高く、仮設費も多額となり、建物の増改築などを伴うため、コスト面でも有利とはいえません。

その点、新施設であれば設備の配置及び能力の設定はもとより、その後の維持管理などを考慮した配置、建物構造などを最良なものにすることが可能です。

建物がもったいないという話がありますが、東京二十三区清掃一部事務組合で、プラント更新を試みましたが、コスト面も含めた総合的な観点からプラント更新に必ずしもメリットがあるわけではないとし、施設の整備方針が改められています。また、国の「廃棄物処理施設長寿命化計画作成の手引き」においても、適切なメンテナンスにより、長寿命化を図ることを推奨していますが、長寿命の最大期間が35年となっており、建物の寿命とのギャップは、廃棄物処理施設の特性としています。以上のことから、建て替えが適当と総合的に判断しました。

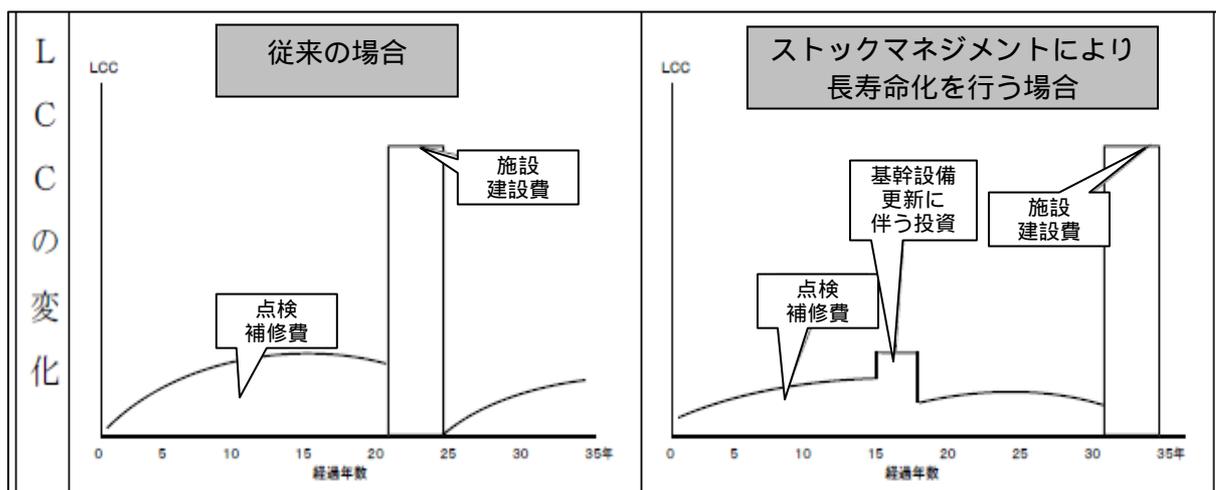
参考資料(環境省より)(資料1)ごみ焼却施設における廃止時の供用(稼働)年数と施設数



35年供用(稼働)

*全国のごみ焼却施設では、20～24年程度で廃止を迎えている施設が多数あり、30年以上供用している例は、極端に少なくなっています。

(資料2) 廃棄物処理施設におけるストックマネジメントのイメージ(LCC変化)



*従来は20年程度であった稼働年数がストックマネジメントにより、長寿命化(最大期間35年)が図れます。本市現施設は、すでに長寿命化(上图右側グラフ)を進めており、平成30年度(34年間稼働)までに新施設へ移行する計画としています。

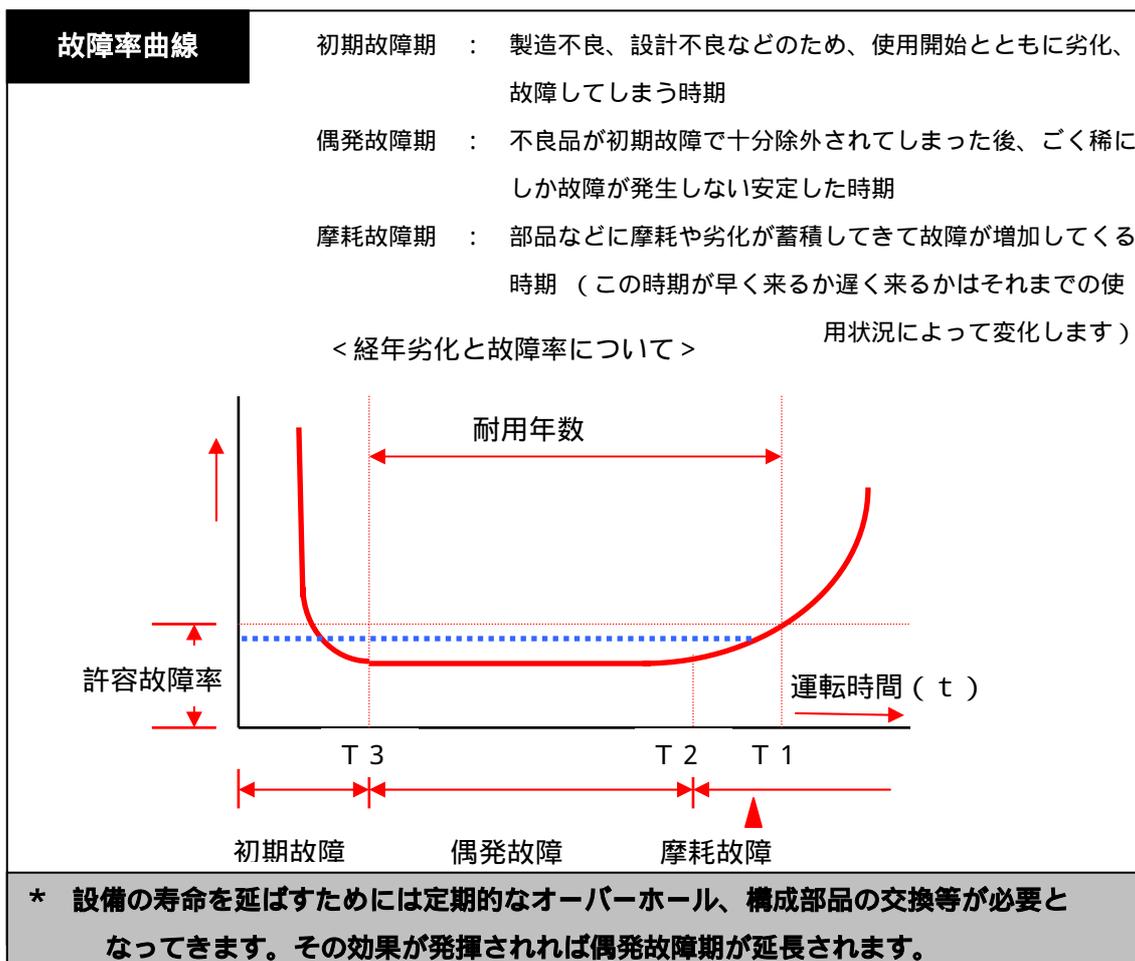
寿命を判断する要因

施設を構成する設備には、寿命があり、それらが広範囲となれば施設の寿命と考えられる。寿命の要因には、以下のようなものが考えられます。

- ・ 腐食、磨耗などによる強度低下
- ・ 故障頻度の激増
- ・ 設備、システムの陳腐化
- ・ 整備費増大
- ・ 耐震強度不足

長期使用におけるリスク

ごみ処理施設に限らず、設備には寿命があり、上記の要因が考えられます。それを超えて使い続けると、急激に故障頻度が増えてきます。故障頻度が激増しても安全性を保持できる状況であればよいのですが、ごみ処理施設では重大な故障や事故が発生した場合、周辺環境への影響、市民生活への影響を与える可能性があります。そのため、現施設は予防保全を念頭においた耐用年数以内の機器更新などを実施することで安全、安定的な施設運営を継続してきました。しかしながら、下図の故障率曲線の磨耗故障期に入っており、特に焼却炉・ボイラの交換を余儀なくされている状況の中、建て替えを選択せざるを得ません。



事故が懸念される事例

- ・ボイラに噴破等が発生し、蒸気漏れを起こした場合、ボイラ、焼却炉の損害だけでなく、排ガスの冷却機能がなくなることにより、バグフィルタのろ布の焼損などが考えられます。この場合、排ガス処理が不能な状態となり、周辺への影響が懸念され施設の長期停止が余儀なくされます。
- ・排水処理水槽は、排ガス処理用の洗煙水などを貯留しています。水槽はコンクリートの内側にライニング（腐食・磨耗などを除くために用途に適した材料を貼り付けること）が施されています。この排水処理水槽は、年 2 回の定期清掃を実施しています。その時点で点検をし、状態の確認をしたのち、予防保全の考えで補修時期を検討し、補修を行い良好な状態の維持をしています。今後、コンクリート自体の劣化による亀裂からライニングに広範囲に突破的に亀裂が発生する可能性があります。そういった事態となった場合、抜本的な改修には、長期的な停止が必要となります。
- ・施設内は、各種設備に電源を供給するための電気配線、各種機器の制御を行うための制御配線が複雑に配線されています。制御配線及び制御機器に異常が発生した場合は、各種機器の制御が不能となり、正常な施設稼働の維持ができなくなる可能性もあります。こういった事態となった場合、原因の究明に長時間を要することとなり、制御機器類についても生産中止により供給停止しているものもあり、制御盤の改造などが必要となった場合、施設の長期停止も余儀なくされます。
- ・排ガスダクトの系統には、腐食が発生している箇所もあります。今後、腐食箇所が多く発生し、進行していった場合、施設内に排ガスが漏れる可能性もあります。排ガス漏れを起こした場合、周辺設備が腐食を起こすなどの 2 次的損傷及び労働災害の危険性もあります。
- ・灰ピットは、灰を貯留しており、灰の成分などの影響により、側壁のコンクリート部分に損傷を与え、現在は補修による対応をしていますが今後損傷する範囲が大きくなった場合、大規模な改修が必要とされ施設の長期停止を要します。

大規模な更新工事が必要となる箇所

- ・ボイラは、一般的に 30 年が寿命とされており、寿命を超えて使用する場合、突発的な事故などを起こす可能性が高くなるため、安全性などの点から早期に更新するべきと考えられています。現在は大きな損傷や腐食による劣化は見られませんが長期的な使用はリスクを伴います。今後、施設を 30 年以上稼働させるのであればボイラの更新が必修です。仮にボイラの更新を行った場合、建物の天井を開口し、施工するため、その後の建物改修や補強などの大掛かりな工事となります。
- ・焼却炉は、ボイラの下部の位置にあり、耐火レンガとケーシング（鉄製の外箱）で構成されており、そのケーシングに腐食や変形が見られるため、レンガ積みに支障が出ることが懸念されます。また今後焼却炉、ボイラを支持している鉄骨部に歪みの発生が懸念されます。焼却炉もボイラ同様 30 年が寿命であり、寿命を越えた使用を考えた場合、焼却炉ケーシング、支持部材の腐食、歪みが進行するため、ボイラと合わせて全体更新が必要となります。

今後の機能停止が懸念される箇所の現況

排水槽

- ・排水槽内のライニング（*）にスケールの付着が見られるが良好な状態。



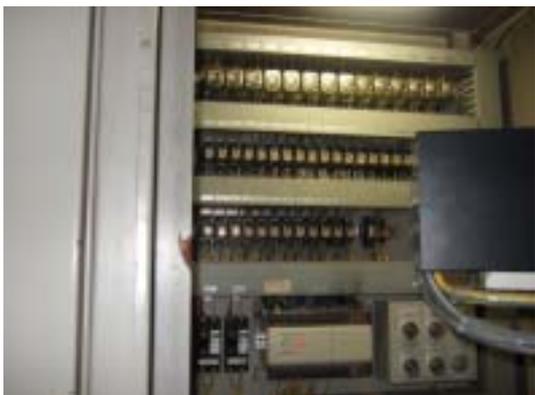
施設内配線

- ・電源供給線や制御線に漏電、接触不良などの発生が懸念される。



各種制御盤

- ・制御盤内の制御機器は、生産中止のものがあり、突発的な故障の際、対処に時間が必要となる。



排ガスダクト

- ・腐食が発生した排ガスダクト部、排ガス漏れによる2次被害が懸念される。



灰ピット（平成15年状況、補修前）

- ・コンクリートが欠落し、鉄筋が露出している。

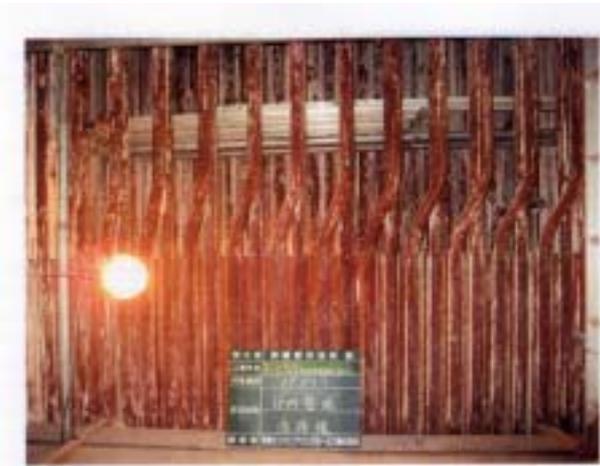


* ライニング・・・腐食・磨耗などを除くために用途に適した材料を貼り付けること

大規模な更新を要する箇所の現況

ボイラ（水管部）

- ・水管に若干の腐食が見られる。



ボイラ（水冷壁部）

- ・チューブに若干の腐食、磨耗が見られる。



焼却炉（ケーシング部 * 鉄製の外箱）

- ・鉄製のケーシング部に劣化が見られる。



焼却炉（ケーシング部 * 鉄製の外箱）

- ・後燃焼帯部ケーシングに腐食が見られる。



焼却炉支持材

- ・鉄製支持材に長期使用による歪みが懸念される。



焼却炉外面

- ・同左



資料2 パブリックコメント（市民意見）

「市の基本的な考え方（案）」について、9月3日の市議会本会議で報告し、9月15日に市報掲載しました。また、10月に開催した6回の説明会とパブリックコメント（市民意見）において、市民の方々のご意見を伺いました。これらのご意見を反映しつつ、基本計画の策定及び施設・周辺整備の素案づくりを進めていくために、「市の基本的な考え方（案）」を編集し直し、方向性をまとめたものです。

いただいたご意見についての市の考え方を、下記に掲載いたします。なお、それぞれのご意見について、どこで提出された意見なのか分かるように、文末に記号を振っております。

（緑）緑町コミセン説明会 / （パ）緑町パークタウン説明会 / （け）けやきコミセン説明会 / （境南）境南コミセン説明会 / （吉東）吉祥寺東コミセン説明会 / （西久）西久保コミセン説明会 / （コ）パブリックコメント / （緑二）緑町パークタウン自治会・意見書 / （緑三）緑町三丁目町会・意見書

計画の進め方と市民参加	
意見・質問	回答
今後緑町三丁目のみを対象とした場を設けて欲しい。要望に対してなるべく取り入れて欲しいし、一つ一つ回答をして欲しい。（緑）	周辺各地域のそれぞれと、要望事項については個別に協議を継続し、合意を図るものといたします。協議の結果合意した事項については、協定を締結いたします。
各地域は住民アンケートを行って、住民の意見を集約して出してはどうか、もしくは市役所の方が各戸それぞれのところでどう思っているか意見を聞けるような方法をとってはどうか。（け）	だれでも意見いただけるよう、パブリックコメントによって意見募集をしています。さらに必要に応じて繰り返し説明会を開催し、様々な意見を伺い、あわせて周知も行っていきます。
「市役所北エリアが最も適切である」という表現の撤回。現在の用地は25年前の苦渋の選択によりやむを得ず受け入れたものであります。現在も住民の多くは継続使用に反対の意思を示しています。25年の間に他の候補地探しの努力がなされてこなかったにもかかわらず、このような表現を用いることは、地元住民の感情を無視した非情な行為であり、全市民にあたかも周辺住民がそれを望んでいるような誤解を与えます。したがって、この表現を撤回し、決定する「市の基本的な考え方」の中で、不適切な表現であったと明確に記載することを求めます。（緑三） 今回も反対意見が出された。緑町三丁目にも反対意見があり、その反対意見が「市の基本的な考え方（案）」に入っていないのではないかと。全市民に、地元の苦悩・精神的苦痛をはっきりと打ち出して欲しい。市議会でも地元ではない市議会議員からは、建て替えて地元還元施設を造ると、「そんなに金をかけるな」などという意見が出るのではないかと。現実問題として、どれだけ具体	この表現は、25年前に苦渋の選択の末に現施設の建設を受け入れていただき、現在においても新施設を敷地内に建て替えることに対して反対の意思を表明しておられる多くの地域住民の方々に対して配慮が不十分であったと重く受けとめております。「市の基本的な考え方」においては、周辺にお住まいの方々がやむを得ず、全市のごみを受け入れているという現状が分かる表現とし、「市の基本的な考え方（案）」における「市役所北エリアが最も適切である」という表現は配慮が不十分であったと明確に記載いたします。また、市議会には段階ごとにご説明し、意見を伺っております。

(緑) 緑町コミセン説明会 / (パ) 緑町パークタウン説明会 / (け) けやきコミセン説明会 /
 (境南) 境南コミセン説明会 / (吉東) 吉祥寺東コミセン説明会 / (西久) 西久保コミセン説明会 /
 (コ) パブリックコメント / (緑二) 緑町パークタウン自治会・意見書 / (緑三) 緑町三丁目町会・意見書

<p>的に還元されてきたものがあるかを考えても、たいした物が無い。今後、街区全体でまちづくりを行っていくには相当の予算がかかる。遠方の人より、反対している地元の人の方が真面目に議論をしている。綺麗な言葉じゃなく、現実を反映して欲しい。(け)</p>	
<p>市民参加の委員会で、焼却炉のことが分からない人たちで構成された委員会が出された提言には信用がおけない。市民参加と言って、中身の分からない人たちの意見を取っても、それは言い訳でしかない。何かあって不利益をこうむるのは市民である。もっと責任を持って欲しい。専門的な意見を聞かずに、市民市民と言っても、ありきたりな簡単な意見しか出ない。今度の委員会は、まちづくりや景観などが問題にもなるのだろうが、機械設備についてもしっかりとした専門家を入れなければならない。(境南)</p>	<p>まちづくり検討委員会は、クリーンセンターを建て替える計画において前提条件を整え、議論の道筋を整える性格の委員会でした。これから行われる施設基本計画策定委員会は、具体的な設備や仕様を検討する段階であり、ご意見にあるとおりまちづくりや機械設備について詳しい専門家の方に委員として加わっていただきます。</p>
<p>町田市で事業仕分けをしている。それで、説明会などに他部署の職員が行き、市民の側に立って質問をする。職員の方が知識が多いので、深く突っ込んだ質問をする。武蔵野市でも、そのような取り組みはしないのか。(境南)</p>	<p>市は事務事業評価を実施し、主管課による一次評価、理事者及び主管部長で構成する行革推進本部による二次評価を行った上で、事務事業の見直しを進めています。</p> <p>事業仕分けは事業の見直しを行うための手段の一つです。より効率的な行政運営を行うための事業の見直し手法について、様々な事例を研究し、推進してまいります。</p>
<p>造ったからにはどんな使い方をしても良いという考え方ではいけない。施設があることにより感じていることもある。約束を守って運営をして欲しい。(パ)</p> <p>市の駐車場は市の行事にしか使わせないということは約束しているが、紙に書いた約束が守られていないところもある。職員の引継ぎが上手く行っていない。(パ)</p> <p>市民もそうだが、組織の代表から個人になって、個人で止まってしまう。いくら言っても個人の意見になる。受けての配慮をして欲しい。(パ)</p>	<p>今後の協議事項や要望書に対しては文書で回答いたします。その内容と管理についてはよく引継ぎをして、約束したことについて漏れのないようにいたします。ご不明な点がございましたら、クリーンセンターのほか市民協働推進課やごみ総合対策課などでも対応いたします。周辺まちづくり整備庁内推進本部を設置しましたので機能させ、お約束を恒久的に守れる仕組みにさせていただきます。また、主管者会議で全庁的な意見統一を図ります。</p>
<p>いつも堅い説明をするのではなく、スケジュールについても事前の検討は控えて、作る前に地元と十分な相談をして欲しい。(パ)</p>	<p>今回は堅い説明会になっていますが、楽しさも必要であり、参加の呼びかけについて工夫していきます。</p>
<p>まちづくり協議会と基本計画策定委員会の相互の意見交換が定期的実施され、よりよい市民施設となるような努力はいうまでもありません。(緑二)</p>	<p>基本計画策定委員会での検討事項を施設・周辺整備協議会へ報告し、そこでのご意見を委員会へ反映させるサイクルで進めていきます。</p>

(緑) 緑町コミセン説明会 / (パ) 緑町パークタウン説明会 / (け) けやきコミセン説明会 /
 (境南) 境南コミセン説明会 / (吉東) 吉祥寺東コミセン説明会 / (西久) 西久保コミセン説明会 /
 (コ) パブリックコメント / (緑二) 緑町パークタウン自治会・意見書 / (緑三) 緑町三丁目町会・意見書

<p>PFI の導入についても積算根拠がわかる仕様書の開示と説明責任は当然のことと考えます。周辺住民が被る不利益についても事前説明や情報公開によって周知をすることが条件です。(緑二)</p>	<p>PFI 等の事業方式においては、「PFI 等可能性調査」を行い、施設基本計画策定委員会にて事業手法を検討します。検討の際、周辺住民の方々の安全が担保できることが条件になります。また、事前説明や情報提供を行います。</p>
<p>それぞれ成果指標を設けて、実施一定期間後に実現できたかどうか評価を行うことを求めます。評価指標としては次のようなものが考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「施設、まちづくり」に関して、(周辺地域の地価上昇率) ・「市民の理解を深める方策の実施」に関して、(市民の理解度をアンケートによって計測、延べで全市民が施設見学を行う) ・「ごみ減量の実現に向けた方策の実施」に関して、(地域ごとの減量化到達度) ・「分散処理・施設分散配置の実現」に関して、(分散処理のための用地取得状況) (緑三) 	<p>実効性を担保するうえで、評価指標の設定は意義のあることだと考えられます。施設・周辺整備協議会での検討事項といたします。</p>

<p>建て替えの必要性</p>	
<p>意見 ・ 質問</p>	<p>回答</p>
<p>脱焼却・脱廃棄ということが今回の政策にも見えない。新しい戦略というのは、違ったことを行政もやるし、市民もやるのだということを見せていかなければいけない。スクラップ&ビルトをなぜやるのか。市民としては35年間利用でも勿体無い。30年耐用年数の施設を3台あり、2台だけ利用していたのだから45年持つ筈。チャレンジをして欲しい。行政ではなく、企業の側の立場で考えているように感じ、不信感を持つ。(け)</p> <p>新施設を建てるべきか、建てないでメンテナンスをするべきかという問題。外見は綺麗。中身についてであるが、10年近く前に40億円もかけて大改修をしている。ダイオキシンの問題もあり、電気集塵機からバグフィルターに変えた。これまで相当の投資をしたから、周辺に環境の悪影響が無いのであるので、メンテナンスをしてみましたましやるよりは、今後も周辺への悪影響を与えないためには新施設を建て替えて新しい技術を取り入れた方が良い。(け)</p>	<p>これまで予防保全を行い、延命化にコストをかけてきました。今後、さらに延命化を図るためのコストをかけることが、ライフサイクル的にトータルとして良いのかを考えると、建て替えたほうが良いと判断しました。また、市に唯一のごみ中間処理場として失敗は許されない立場であり、リスクのあるチャレンジは出来ないと考えております。そのため、ある程度安全を見込んで施設更新を図っていく必要があります。平成29年度までに人口が5,000人増える中で5,000tのごみを削減する予定であり、こういうみんなで取り組めるものというのは大いに挑戦すべきと考えます。</p> <p>また、これまでも周辺環境の保全には細心の注意を払ってきましたが、適切な設備を導入し、さらに周辺環境の保全を図りつつ、今後深刻となる地球環境の保全に寄与する施設となる、そのようなチャレンジを行っていきたいと考えております。</p>

(緑) 緑町コミセン説明会 / (パ) 緑町パークタウン説明会 / (け) けやきコミセン説明会 /
 (境南) 境南コミセン説明会 / (吉東) 吉祥寺東コミセン説明会 / (西久) 西久保コミセン説明会 /
 (コ) パブリックコメント / (緑二) 緑町パークタウン自治会・意見書 / (緑三) 緑町三丁目町会・意見書

<p>バラ園の所に新施設を建て、それを稼働させないで置いておく。そうすればリスクなく現施設を壊さずに運転することができる。また、広域で連携し、大変な自治体が出れば助ける。(け)</p>	<p>稼働させないでも一定程度のコストはかかります。また、現施設については耐用年数に近づきつつある主要設備もあることから新しい施設を運転する必要があると考えております。</p>
<p>まだ 25 年しか経っていないという感じがある。新しく建てる時には、建物を壊さないで良いという方法を考えて欲しい。(け)</p>	<p>新施設においては、メンテナンスや大規模改修が容易なような構造で建築する必要があると考えております。但し、全施設の交換が可能な建築については、今後の検討課題と考えております。</p>

<p>新施設の設備等について</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回答</p>
<p>建設に 70 億円かかるということには疑いを持っている。プラは他のごみと一緒に燃えず、溶けてから蒸発し、燃えるため、炉内の温度分布が偏るので、火格子の痛みが激しい。平成 29 年の時には、汚れたプラは今より増えていると思う。包装業者に対しては、プラをやめて紙にするよう頼むべき。市民に頼むだけではなく、メーカーに対してもきちんと話をするべき。中間報告書にはカロリーが 1.5 倍になっているが、部分で考えると 1.5 倍どころではない。70 億円というのは眉唾であり、90 億円はかかると考えている。(境南)</p>	<p>焼却施設の建築を含めた値段は、全国的な平均値で処理日量 1 t あたり 5,000 万円と言われており、新施設においては日量 120 t を計画しているので単純に計算すると 60 億円となります。粗大不燃処理施設(10 t / 日)に 10 億円程度と見積もっています。</p> <p>これはあくまで概算費であって、今後の施設基本計画策定委員会で施設の基本仕様を決定し、再度試算します。</p>
<p>プラについて、蒸らして蒸発させ、ガスにして発電に使うということを、アメリカあたりでは 20 年も前からやっている。(境南)</p>	<p>平成 12 年度より、分別回収した容器包装プラスチックについては、日本容器包装リサイクル協会を通して資源化が行われています。現在焼却しているプラマークのついていないプラスチックの有効利用について、諸外国の技術も視野に入れて研究を進めていきたいと思えます。</p>
<p>発電設備について、内容を知りたい。どれくらいの容量の発電機で、今までなぜ発電をしなかったのか。(西久)</p>	<p>2,000 k w / h の発電量を検討中です。具体的には施設基本計画策定委員会の議論を通して決定して行きたいと思えます。昭和 59 年の建設当時では、この規模での発電が難しかったためであり、現施設では発電を行わず、市役所・体育館の冷暖房とプールの熱源として利用してきました。</p>
<p>全国各地の、他の焼却施設の情報を集めるべきである。(境南)</p>	<p>他の焼却施設の情報を集めることは、新施設を考える上で有用であると考えており、データの収集を行っております。実際に目で見てみるのが大切であるとの考えから、折に触れて視察を行っておりますが、より積極的</p>

(緑) 緑町コミセン説明会 / (パ) 緑町パークタウン説明会 / (け) けやきコミセン説明会 /
 (境南) 境南コミセン説明会 / (吉東) 吉祥寺東コミセン説明会 / (西久) 西久保コミセン説明会 /
 (コ) パブリックコメント / (緑二) 緑町パークタウン自治会・意見書 / (緑三) 緑町三丁目町会・意見書

に他施設の情報を集めたいと思います。

運営協議会について

意見・質問	回答
<p>(工場は、練馬区と西東京市は近いのだが、あちらの広報にも載せるべき。市内だけを対象にしているのは役人的な縦割りだと思う。) 運営協議会にも、特例で練馬区の人を入れるべき。また、運営協議会に昭和59年当時から委員をしている人がいる。これでは後から入った人は意見を言いづらい。役人に對抗するためにはベテランの力も必要だろうが、ベテランはアドバイザーになればよい。(境南)</p>	<p>運営協議会委員の選出については、周辺住民の方々に任せしています。しかし、新施設の運営協議会には全市民的な委員の選出や、専門家を入れるという考えがあり、ご意見も参考にさせていただきたいと思います。</p>
<p>13万5000人の市民の排出するごみ問題を25年間365日背負ってきたことへの評価を認識した上で今後の運営協議会のあり方について十分考えることが大切です。協議会を構成するメンバーの人选、協議内容や報告も含めどのような形式で市民へ周知するかは熟考しなければなりません。不燃粗大ごみ処理施設での事故や汚れたプラスチック製品がクリーンセンターの洗車場に山積みになったこと、あるいは茨城県桜川村への焼却灰搬出等の情報は周辺住民には知らされたが一般市民には広報されず、ごみ問題は他人事という多くの市民を作り出したことへの行政の責任は大きいといえます。今後は全市民が情報の共有、共感ができるような新たなしくみを作り出さなければなりません。(緑二)</p>	<p>運営協議会に担っていただいている役割や実績は、当市にとって誇れるものであり、その評価をした上で今後のあり方を考える必要があると思っております。全市民的な参加の方法などを含めて、施設・周辺整備協議会での協議を経て、周辺にお住まいの方々の意見を十分に伺った上で検討していきたいと思っております。</p> <p>情報公開については、非常に大切なものであると考えており、広報のあり方や、新たな取り組みとして環境報告書で広く、包み隠さず市民の方々に情報を伝えていく方法を常に探していきたいと思っております。</p> <p>また、ごみやクリーンセンターの問題を周辺地域だけのものとせず、全市民的な問題とするべく、仕組みを作ってまいります。</p>
<p>まちづくり協議会(仮称)で運営協議会構成団体をどの範囲とするか、また団体に所属しない市民をどのように参加させるか等の議論は十分にする必要があります。バス研修や健康診断実施の際にも人数制限があり、現状に不満を表す人たちが存在する中で他地域を配慮することについては慎重に検討すべきであるといえるでしょう。(緑二)</p>	<p>ご意見のとおり、運営協議会構成団体の範囲や、全市民的な参加のあり方などを施設・周辺整備協議会を通じて協議・検討していく必要があります。</p> <p>また、バス研修や健康診断の範囲などについても、検討課題であると考えております。</p>

環境対策

意見・質問	回答
<p>今回「環境報告書」を作って、目に見える形にしたことは評価したい。今後も継続して欲しい。(緑)</p>	<p>環境報告書は、今回初めて作成いたしました。見やすいところと見づらいところがあると思うので、今後ご</p>

(緑) 緑町コミセン説明会 / (パ) 緑町パークタウン説明会 / (け) けやきコミセン説明会 /
 (境南) 境南コミセン説明会 / (吉東) 吉祥寺東コミセン説明会 / (西久) 西久保コミセン説明会 /
 (コ) パブリックコメント / (緑二) 緑町パークタウン自治会・意見書 / (緑三) 緑町三丁目町会・意見書

	<p>意見をいただき、より良いものにしていきたいと考えております。</p>
<p>公団の A8 号棟、煙突から 100m くらいしか離れていない所にすんでいる。煙突があるのが不愉快。冬には北東の風があり、その時に臭いがあり、ふとんを干せない。クーラーの室外機の上には煤がたまる。妻は、肺に半分水がたまるという病気で入院した。しかし、道沿いに関東バスが通るため、クリーンセンターのためであるかどうかの確証がない。クリーンセンターのためかどうかははっきりしないが、苦しんでいる人間がいることは知っておいて欲しい。環境も大事であるが、人間も大事だ。 (緑)</p>	<p>皆様の健康が最も大事なことでないと認識しております。法規制値よりも低い数値で運転しておりますが、今後もさらなる改善に努めさせていただきます。</p>
<p>水冷をもって、排気ガスを水に潜らせて有害物質を全て除去するシステムを取り入れてはどうか。(緑)</p>	<p>現在の施設はアルカリ溶液をスプレーしているところに排気ガスを通過させ、有害物質の除去をしております。現時点での情報では、信頼できる実績を持つ技術で、水を潜らせるものは無いのですが、基本設計・実施設計の段階でさらに研究をしていきます。</p>
<p>23 区内では人がさらに密集しているので、煙突の高さが違う。高井戸の場合、夜間でも点滅等が付いている。高いと、上昇気流などに巻き込まれ、埼玉などに流出している。しかし、ここの煙突はそれほど高くない。(パ)</p>	<p>煙突の高さを 59m にしたのは、建設当時の航空法による規制で、60m 以上にしたら赤白のデザインにして灯りを付けなければならない、さらに圧迫感があるという事で、周辺住民の方々との協議の中で決めさせていただきました。一方で、煙突が高ければその分排気ガス中の成分が拡散されるため、周辺環境への影響はより小さなものになるとも考えられます。煙突の高さについては、施設基本計画策定委員会で検討します。</p>
<p>一年の春夏秋冬で風向きが違うのではないか。北東に住んでいる方の家に煤塵が降りそそいでいるという話があるが、風向きの影響なども市民に知らせて欲しい。 (パ) 煙突の高さによっては、拡散して周辺ではなくもっと遠くに行っている。煙突の高さや温度などでどこに行くかは分からない。(境南)</p>	<p>街中の施設という事で、湿式有害ガス除去装置というアルカリ溶液で排ガスを洗うというシステムを採用し、さらに大規模改修も行い、現在の最新の施設にあまり遜色のない設備となっています。また、環境健康診断では目立った健康への影響は確認されておりません。但し、臭いの問題など原因が特定できないことがあり、研究を重ねたいと思っております。臭いを感じた時には連絡を貰い、サンプルを取るなど行わせていただきたいと思います。また、風速の測定なども行っているため、今後は環境報告書に載せるなどして報告していきます。</p>
<p>発電によって東京電力から買う電力代が、年間約 9 千万円浮くという話があったが、25 年前に設置した時に人口が増え、ごみも増えるという予測して 3 炉建設したの</p>	<p>ごみ減量が進み、1 炉での運転が続くようになれば発電効率は落ちますが、ごみ減量は第一であり、そちらを優先に考えております。</p>

<p>に実際には増えず2炉で回せている状況であり、ごみが減った場合に電力代はどうなるのか。(パ)</p>	
<p>クリーンセンターの中で働く人は、異臭の中で働いている。新施設においては、どのような労働環境にするのか。(パ)</p>	<p>住民の皆様健康を守るのは当然のことですが、従業員の労働環境を守るのも当然のことと考えております。そのため、現在も労働の安全基準を守り、安全パトロールを実施し、内部の環境測定も適宜行っております。新施設も同様以上の労働条件を守ります。</p>
<p>基本的には反対。理由としては、なんだかんだと数字を並べてみても結局は有害だろうと考えている。どうしてもあそこに建て替えるというのなら、絶対に無害だという事をはっきりとさせて欲しい。地元住民の心理的不安が問題。排気ガスが影響しないかというようなことが一番心配である。(け) 市役所北エリアに建て替えることには反対である。どうしても建て替えるなら絶対無害であることを市長名で宣言してもらいたい。(コ) 今回の問題では、周辺の人たちのことを、最大限気をつけて欲しい。絶対に迷惑をかけてはならない。(境南)</p>	<p>ご心配であることは理解しております。クリーンセンターでは徹底した安全管理に努めており、排気ガスは人体に影響ない基準値内に収まっており、騒音・振動・臭いについても常に検査をして、周辺環境に影響のないよう努めています。新施設ではさらに基準を厳しくして、最新の技術の粋を集めていき、さらに安全性の問題をクリアしたいと考えております。</p>
<p>すぐそばは住宅なのだが、ごみ収集車はこれからもずっと走るのか。ストックヤードなどを考える上で分散を検討して欲しい。(パ)</p>	<p>今後、将来のごみ処理のあり方を検討する中で、分散配置の可能性を探ります。</p>
<p>未だ判明されていない汚染物質についての不安もあり、検査体制を常に最新の技術によるものとして、検査結果を分かりやすく住民に周知する。(緑三)</p>	<p>常に最新の技術を導入し、汚染物質の検査を行います。また、検討委員会の提言を受けて今年度より始めた「環境報告書」の内容を充実し、検査結果を分かりやすく住民の方々に周知いたします</p>
<p>現在も実施している健康診断を今後も継続し、住民がもれなくうけられるような実施方法についての検討を行う。(緑三)</p>	<p>環境健康診断については、今後も継続して実施いたします。実施方法については、今後工夫をしてみたいです。</p>
<p>機種選定等は施設基本計画策定委員会にゆだねるとしても、建設にあたっての事前事後の環境影響調査測定にはまちづくり協議会や周辺住民の声を十分に反映するのは当然といえます。場合によっては策定委員会の専門家委員は周辺住民からの推せん者も入れる配慮は必要です。(緑二)</p>	<p>環境影響調査の調査項目については、施設基本計画策定委員会によって検討した後、施設・周辺整備協議会を通して周辺にお住まいの方々のご意見を反映した上で決定するという道筋を考えております。専門家委員について、周辺にお住まいの方々と協議していきたいと考えております。</p>
<p>温暖化対策については二酸化炭素の排出量が施設の稼働前、稼働後でどのように変化するのか予測値、実測値を公表することや発電によって抑制できた二酸化炭素</p>	<p>二酸化炭素排出量に対する配慮は必須のもので、環境報告書で分かりやすく公表する取り組みを始めたところですが、市民の皆様の意見を反映しながら、より良い</p>

(緑) 緑町コミセン説明会 / (パ) 緑町パークタウン説明会 / (け) けやきコミセン説明会 /
 (境南) 境南コミセン説明会 / (吉東) 吉祥寺東コミセン説明会 / (西久) 西久保コミセン説明会 /
 (コ) パブリックコメント / (緑二) 緑町パークタウン自治会・意見書 / (緑三) 緑町三丁目町会・意見書

<p>量を表示板設置により市民にも分かるようにすることが環境配慮の一つと考えます。可能であれば一酸化炭素の数値も示しダイオキシン対策も計ってほしい。(緑二)</p>	<p>形を模索していきたいと考えております。また、新施設においては電光掲示板などで即時的に公表するシステムを、公表する項目も含めて検討していきたいと考えております。</p>
<p>環境政策課が発行している武蔵野市の環境保全報告書(環境マネジメント報告書)は各課の達成項目等が記載されたものであるが、一般市民向けとはいえない。市民が理解できるような内容に改善し、市民一人一人が環境に関心を持てるような報告書とすべきである。武蔵野市がISO14000を取得し、達成目標をどのように設定しているか、施策や事業にどう反映しているか、また市民が何をなすべきか(ごみ減量等との関係が理解できるしくみ)を自覚できれば発行された報告書の価値はあがる。苦労してまとめても活用されなければ宝のもちぐされである。(緑二)</p> <p>武蔵野市がエコシティとなるためには、発行される資料は情報公開すると同時に活用されることが全市民への周知となりうる。そのために新施設の果たす役割は大きい。期待を込めて提案する。(緑二)</p>	<p>ご意見をいただいた環境保全報告書(武蔵野市の環境保全)は、ISO14000を取得したことを機に、平成11年度版より全面改訂をし、環境に関連した施策の総合的な報告書として発行しております。改訂以前は、環境保全(公害関連)を中心に環境関連の報告書として作成をしておりました。改訂の折には、より分かりやすくとの意見、反対に細かいデータや今までの経緯を含めたものにとの意見があって、現在の形式としている経緯があります。その後も、「武蔵野市役所地球温暖化対策実行計画」の策定を受け、平成14年度版より、市が行う事務事業等から発生する温室効果ガス排出量の実績値も合わせて掲載するなど、情報量を増やしてきております。</p> <p>市といたしましては、今までの経緯やご意見を改めて精査をし、環境政策面から紙資源の使用量にも配慮しながら、ISO14001の達成目標を始め、市の持ち得る情報について、より分かりやすく活用されるような提供方法について模索してまいります。</p>
<p>クリーンセンター施設は耐震構造に出来るが、ごみ搬入道路はそうではない。施設にどこからでも入れるように、施設全体の周辺は10m~15m程度の空気を砂利舗装しておくべきであると思う。(コ)</p>	<p>ご意見を参考に、ごみ搬入道路も含めた震災時のクリーンセンターのあり方、耐震構造について施設基本計画策定委員会において検討を行いたいと思います。</p>

新施設の整備用地について	
意見・質問	回答
<p>建て替える場合は、まちづくりにも手を尽くしてくれるということだが、地域的には、東側だけで建て替えるのか?(緑)</p> <p>野球場のところに、工事中の期間に資材置き場などになるのは仕方が無いが、絶対に施設は北に来て欲しくない。(緑)</p> <p>北エリアを選定されたがバラ園の所に造るとコミセンのあたりに造るのでは全然受ける感じが違う。具体的にどこが決まっていないと判断に困る。都市計画決定されている範囲内に落ち着くという理解でよいのか。(け)</p>	<p>新施設の位置については、住居地域から可能な限り遠ざけることを大前提とし、現施設東側で現在よりも北側に寄らないよう配置します。また、周辺住民の方々にごみ焼却施設というイメージを直接的に与えない建物配置やデザインの採用、緑による緩衝地帯の設置を実現いたします。</p>

(緑) 緑町コミセン説明会 / (パ) 緑町パークタウン説明会 / (け) けやきコミセン説明会 /
 (境南) 境南コミセン説明会 / (吉東) 吉祥寺東コミセン説明会 / (西久) 西久保コミセン説明会 /
 (コ) パブリックコメント / (緑二) 緑町パークタウン自治会・意見書 / (緑三) 緑町三丁目町会・意見書

バラ園の場所に施設が来ると考えて良いのか。工事の資材置き場などで野球場を使うので、北エリアのところを全面改修するという事で受け止めて良いのか。(け)
 新施設が現在の位置より北側に寄らないことを前提とし、周辺住民にごみ焼却施設というイメージを直接的に与えない建物配置やデザインの採用、緑による緩衝空間の設置を求めます。(緑三)

分散配置・広域処理について

意見・質問

回答

「将来のごみ処理の問題」「検討」など、弱い。全市の問題にするには、各地域で何が出来るかを早速検討を始めて、焼却以外のものをどこに持っていくか今から各地域で話すことで全市民の関心を得るために必要である。だから、是非強調した表現にして欲しい。(け)
 今後、新施設整備の検討と同時に、ごみの分散処理や施設の分散配置の検討に着手し、この実現を求めます。これにより、次期施設(次世代施設の整備)においては、市役所北エリア内での建て替えを前提としたリザーブ用地の確保を行わず、施設以外の空間が恒久的に市民利用できるようにすることを求めます。(緑三)
 ごみ処理施設の分散化について、コミュニティ地域ごとに何を分担するかが今後話題になるが、引き続きコミセン勉強会を実施しながら模索する。(緑二)

現在、生ごみや剪定枝木の資源化について、ごみ減量・資源化プロジェクトチームで検討中です。市民参加型のパイロット事業をまず一部地域で実施する方策の検討を行っており、その地域にお住まいの方々との協議を行う予定です。その取り組みをモデルケースとした上で、コミセン勉強会を継続的に行い、分散処理化を実現するために各地域でできることを検討する場といたします。分散処理を行う際に、各地域で行っていただけると考えられることを住民とごみ減量・資源化プロジェクトチームで検討し、そこから抽出された処理のどの部分をそれぞれの地域で請け負うことが可能であるか、住民参加で検討を重ね、分散処理の実現と、ごみ減量・資源化に対する意識の向上を図ります。このことを具体的に進める姿勢として、本文 P.18 に実現化への道筋を説明に加えました。

現時点においては、次世代に必要と考えられる施設の種別や必要な敷地規模・条件等は未知数であり、次期建て替えについては平成 29 年度に改定を行う「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」の中で道筋を立て、10 年毎の改定において具体的な検討を行い、実現に向けた事業につなげます。

武蔵野市という小さなエリアでごみ処理場ということであるが、ごみ処理場は小さくても費用が大きい。広域で行わないのか。(西久)
 広域処理・広域支援について、今後各自治体のごみ減量の施策が進み、将来は焼却処理施設での処理量が減ることが予想される。その時のために、多摩地域の廃棄物処理施設の有効活用、適正配置の検討も視野に入れてお

広域での処理にはコストの面でメリットが考えられますが、現施設建設時に三鷹市との共同処理が行き詰まり、自区内処理を選択した経過があります。今後は広域連携を検討していきますが、周辺各市はすでにそれぞれの体制で建て替え計画を進行中であり、今回の建て替えにおいては広域体制を調整して計画を進める余地が無いという判断になりました。しかし、この次の建て替え

<p>く。(緑二)</p>	<p>は広域連携を視野に入れて検討すべきであると考えており、次の建て替えに至る筋道を現時点から計画立てて進めてまいります。</p>
<p>施設の建替に伴う緊急時や定期点検時のために相互の施設間で支援するしくみを構築し将来に備える準備も必要かと考える。各自治体の交流は今後も緊密にしておく。(緑二)</p>	<p>多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定による相互支援の仕組みがありますが、事故などの緊急時のみの支援となっており、建て替えや定期点検時の施設間支援に対応した形となっておりません。この支援体制の見直しが検討されているところであり、本市としても意見を述べています。現施設の定期点検時などには三鷹市との相互支援を行っておりますが、今後はさらに近隣各市との連携を密に取り、支援体制の充実を図るとともに、広域処理が可能な下地を作っていければと考えております。</p>
<p>ゴミの分散処理の導入については、以下の点から賛同できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分散処理を導入しようとする目的・目標が不明瞭であると同時に、当該目的・目標と分別処理との因果関係が不明確です。 ・ゴミの分散処理は、武蔵野市のような極小の都市化された密集地では、費用対効果や効率性からしてメリットがないばかりか、ゴミ処理関係施設分散設置時の地域住民の反対を考えれば、実行性にも大きな疑問があります。 ・ゴミ処理関係施設を分散設置するにあっても、臭気や有害物質漏洩の可能性があり、クリーンセンターでの一元管理の方が、安全性及び有事対応の迅速性という観点から有利と考えます。(コ) 	<p>ごみの市内分散処理は市民のごみ減量及び環境に対する意識促進のためでもあります。市内の東部・中部・西部各地域にそれぞれごみの資源化に資する施設を設置する話し合いを持ち、地域内に設置することで、ごみや環境の現状への理解が進み、ごみ減量及び分別の促進が進み、ごみの減量・資源化が促進されることを目標としています。また、生ごみなど市内各地域で処理する方法も考えられます。</p> <p>市内分散配置の実施に際しては、臭気や有害物質漏えいの無いよう、万全を期します。</p>

<p>次世代の建て替えについて</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回答</p>
<p>40年後に違う場所には建設するか分散処理をするのであれば、現在からもう、こことここという風に場所を決めてみてはどうか。そうすれば、それだけ先であっても反対するわけで、緑町三丁目の感情を理解してもらえる。(緑)</p> <p>30～50年後の建て替えについてどのように対処していくつもりなのか聞きたい。(パ)</p> <p>14箇所の候補地で道路付けや大きさの問題で、こしが無くなった。今から次の用地を探していく動きはして欲しい。現在の時点で、どういった用地が必要である</p>	<p>今後、他市との共同処理や、施設の市内分散配置に向けた協議や事業を実施いたします。また、さらなるごみ資源化・減量に向けた取り組みを推進いたします。そのため現時点においては、次世代に必要と考えられる施設の種別や必要な敷地規模・条件等は未知数であり、次期建て替えについては平成29年度に改定を行う「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」の中で道筋を立て、10年毎の改定において具体的な検討を行い、実現に向けた事業につなげます。また、この「ごみ処理基本計画」には、運営協議会の推薦する複数名を委員として選出し、市役</p>

(緑) 緑町コミセン説明会 / (パ) 緑町パークタウン説明会 / (け) けやきコミセン説明会 /
 (境南) 境南コミセン説明会 / (吉東) 吉祥寺東コミセン説明会 / (西久) 西久保コミセン説明会 /
 (コ) パブリックコメント / (緑二) 緑町パークタウン自治会・意見書 / (緑三) 緑町三丁目町会・意見書

<p>かを検討し、確保して行って欲しい。(パ) 藤元市長時代には、建て替え用地を含めていくように話していたのだが、今大変な思いをしているようである。 今回の建て替えにおいては、しっかりと次の建て替え用地を入れておいて欲しい。(境南)</p>	<p>所北エリア周辺地域の意見を反映いたします。</p>
--	------------------------------

<p>周辺地域のまちづくり・地元還元について</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回答</p>
<p>緑町全体が遊歩道のようなもので回遊できるようなまちづくりをして欲しい。地域や商店街の活性化にもなる。(緑) 市役所側から北側に抜けられる遊歩道の設置。(緑三) NTT 研究所側に歩道を設置、市役所北エリア側の歩道の拡幅。(緑三) 緑町三丁目のメインストリートである、市道 41 号線および緑町コミュニティセンター前の道路について、現在歩道が無い NTT 研究所の周囲に歩道を設置して、歩行者の安全性向上を図る。(緑三) 車道側に自転車レーンを設置する。(緑三)</p>	<p>市役所側から北側に抜けられる遊歩道の設置については、施設・周辺整備協議会にて市役所北エリア内の配置を協議する上で具体的な計画に反映していきたいと考えております。</p> <p>市道 41 号線については、歩行者、自転車利用者の利便性、安全性確保から、NTT 研究所側部分を平成 22 年度内、緑町コミセン～野球場側を平成 23 年度に歩道を整備する予定です。その際、道路幅員から車道側に自転車レーンを設置するのは難しいと考えますが、市道 41 号線 NTT 研究所側部分の整備において、NTT 研究所敷地内に数箇所、自転車待避場の設置を考えております。また、今回の歩道施工部分についてはエコセメント製の透水性インターロッキングブロックを使用する計画をしております。市道 212 号線(緑町コミュニティセンター前の道路)については、全体のまちづくりの中で、施設・周辺整備協議会を通じて、庁内推進本部で検討します。</p>
<p>千川上水沿いの都市計画道路整備のあり方の検討とともに、遊歩道の整備や緑の管理について検討を行う。(緑三)</p>	<p>千川上水沿いの都市計画道路(3・1・12 号線)は、都市計画で位置付けていますが、事業化については未定であり今後の課題と考えます。また、遊歩道の整備や緑の管理については、千川上水整備基本計画策定の中で検討しています。</p>
<p>中島飛行機製作所で使用していた現存する唯一の建物があるが、是非戦争の記録を後世に伝えるために博物館のような形で残すよう都に働きかけて欲しい。また、都営アパート建て替え出来る空きスペースを活用させて欲しい。(緑)</p>	<p>中島飛行機の変電所跡については、東京都に申し入れをいたしました。都としての土地利用の方針が定まっていない現状になっております。引き続き、都に働きかけていきたいと考えております。</p>
<p>バスルートについて、関東バスに働きかけて欲しい。(緑)</p>	<p>ムーバス路線を延長するのは、実現が難しい提案です。路線バスのルート変更については、関東バス(NTT</p>

(緑) 緑町コミセン説明会 / (パ) 緑町パークタウン説明会 / (け) けやきコミセン説明会 /
 (境南) 境南コミセン説明会 / (吉東) 吉祥寺東コミセン説明会 / (西久) 西久保コミセン説明会 /
 (コ) パブリックコメント / (緑二) 緑町パークタウン自治会・意見書 / (緑三) 緑町三丁目町会・意見書

<p>ムーバスルート・停留所の設置など交通の利便性向上。 (緑三)</p>	<p>研究所～三鷹駅)と具体的に協議をしています。</p>
<p>まちづくりについては「やる」というだけで具体的な行動が伴っていないので、今後行動にさせていただけるようお願いしたい。(緑)</p>	<p>具体的なまちづくりの中身については、周辺にお住まいの方々の意見を反映しつつ、施設・周辺整備協議会によって協議を行い、その上で庁内推進本部にて具体化していく予定です。</p>
<p>ここに新施設が出来るのは反対である。しかし、ここに出来るのであれば、静かな環境ということでここに住んでいるので、いろんな人が来る施設というのは反対。テニスコートで十分である。(緑)</p>	<p>ごみ減量・資源化や、環境に対する市民の方々の意識向上のため、クリーンセンターをより身近な施設にする必要があると考えております。また、周辺にお住まいの方々にとって利用可能な機能を備え、まちづくりにプラスの役割を持つべきであると考えております。但し、静かな住環境を守るという視点も重要であり、施設・周辺整備協議会での協議の参考とさせていただきます。</p>
<p>バス旅行が出来るのは、クリーンセンターがあるこの3町内会だけが受けられる恩恵。しかし、募集したらすぐ埋まるので、そういうことではいけない。誰でも受け入れて、優遇しなければならない。バス旅行は一年に一回ではなく、何回もやればいい。(パ)</p>	<p>バス旅行の範囲設定等について、運営協議会の役割や環境健康診断と合わせて考えていきたいと思えます。ご意見は、施設・周辺整備協議会での協議の参考とさせていただきます。</p>
<p>折角熱があるのだから、温泉を作って欲しいという話は前からしている。温水プールを作ってもらってありがたかったが、年をとるとプールにはいけない。温泉があれば「緑町の人には焼却場があるから温泉があっていいな。うちにも焼却場が欲しいな」となる。(パ) 今度の建て替えでは、改めて地域住民の関心事を、何かの形で吸収してなくては。要望などを、ある程度考慮してもらいたい。かつて、ここが建設地となった時に、税金が安くなるなどという話が一人歩きした。地域の人間の意見を聞き、考えて欲しい。(け) 周辺住民の方々の意見や要望を聞くのは当然のことですが、過大なまでに要求を聞きすぎるのではなく、時には行政としての冷静な判断をお願いします。また、クリーンセンター近隣の地域住民の方々には、新クリーンセンター建て替えによる多くの様々なメリットを正しく理解し、過大な要求に走ることなどのないよう、言動の自制と自粛をお願いしたいと思います。(コ)</p>	<p>どのような還元が必要であるか、周辺にお住まいの方々を中心として構成される施設・周辺整備協議会の中で協議させていただき、実現に向けて庁内推進本部にて調整をいたします。ご意見は、施設・周辺整備協議会での協議の参考とさせていただきます。</p>
<p>クリーンセンターの建設において、まちづくり協議会を作って、まちづくりの枠の中で建て替えを考えていこうということだが、市のマスタープランの中に、こういっ</p>	<p>都市マスタープランの策定を行うところです。都市マスタープランは将来のまちづくりの基本的な方向・方針を目指すものであり、市役所北エリアについてはクリー</p>

<p>た施設をどのように組み込んでいくのか。マスタープランは大きな枠組みなので、固定施設はあまり影響を持っていないとも思うが、どの程度入ってくるのか。また、まちづくりはどのように。(吉東)</p>	<p>ンセンターを含んだ環境をテーマとするコンセプトを打ち出して、都市マスタープランに反映させたいと思っています。</p>
<p>今回の施設・まちづくりをより広い視野で捉えて、市役所北エリアと緑町三丁目、NTT 研究所を含む周辺一帯を、環境共生型の都市生活を実現するシンボルゾーン(エコシティゾーン)と位置づけて、それにふさわしい施設・まちづくりを行うことを求めます。これによって、このゾーン全体の魅力を高めて、周辺住宅地域の価値を高めます。(緑三)</p>	<p>市役所北エリア・緑町三丁目・NTT 研究所・体育館・市役所・緑町パークタウンなどを含む一帯を、緑豊かな「環境共生・生活文化創造都市むさしの」の中核となるシンボルゾーンとして、それにふさわしい施設・まちづくりを行うよう施設・周辺整備協議会にて協議を行い、その結果を実現するべく庁内推進本部にて調整を行います。</p>
<p>従来のシルバー人材センターが行っているリサイクル機能だけではなく、環境をテーマにした社会的起業や若者の就業支援につながる機能を持たせる。(緑三) 余熱を効率よく利用したパン工房などを設置して、多くの人が集えるようにするとともに、障害者総合センターと連携して運営することで、障害者の雇用機会を創出する。(緑三) 発電を利用した電気自動車のエネルギーステーションを設置し、公用車やムーバスを電気自動車として運行する。(緑三) 街路灯を太陽エネルギーやクリーンセンターの発電により生み出された電気を利用したものとする。(緑三) 現施設敷地内でのコミュニティセンターの建設(緑三) 緑町コミュニティセンターもまもなく 25 年を迎えるが、今後の建替やリニューアルに備え今から計画しておくことも必要かもしれません。(緑二) 現テニスコートや野球場の地下を駐車場やストックヤードなどとして利用(緑三) タクシー乗り場の併設など交通の利便性向上(緑三) 地域住民が気軽に利用できるカフェや小さい子供連れで利用できるスペース(緑三) 周辺住民が利用できる会議室や集会施設の設置(緑三) 新施設の周辺住民には十分なヒアリングを実施して意見要望を引き出し、新施設としてふさわしい機能と景観を備えた施設まちづくりとすること、その施設が地域にとってよりよいまちのシンボルとなることを望みます。 (緑二)</p>	<p>クリーンセンターを「エコセンター」と位置づけ、廃熱を可能な限り再利用することについては是非とも実現したいと考えております。 ご提案については、「プラスの機能による付加価値」についての選択肢として貴重であると考えております。 具体的な附帯施設の中身や敷地内の利用方法、景観については、周辺にお住まいの方々の意見を反映しつつ、施設・周辺整備協議会によって協議を行い、その上で庁内推進本部にて具体化していく予定です。</p>

(緑) 緑町コミセン説明会 / (パ) 緑町パークタウン説明会 / (け) けやきコミセン説明会 /
 (境南) 境南コミセン説明会 / (吉東) 吉祥寺東コミセン説明会 / (西久) 西久保コミセン説明会 /
 (コ) パブリックコメント / (緑二) 緑町パークタウン自治会・意見書 / (緑三) 緑町三丁目町会・意見書

<p>景観についてはランドマークとなる煙突や建物のデザインにも武蔵野の文化や理念が反映され市民の誇りとなるような工夫をし、周辺住民の生活に溶け込み、より活発なコミュニケーションを築き合える場所となることを望みます。(緑二)</p> <p>周辺の公園と一体になった、明るく、入りやすい雰囲気 の建物(緑三)</p>	
<p>野球場のイベント開放、子ども達の遊び場としての開放 (緑三)</p>	<p>周辺地域のスポーツイベント利用として、優先予約(年1回程度)などが考えられます。具体的な内容を協議した上で、庁内推進本部にて実現に向けた調整を行います。</p>
<p>電線を地中化し、歩道上にある電柱を撤去する。(緑三)</p>	<p>電柱の地中化については、重点整備路線の検討をしておりますが、歩道の幅員不足、埋設物の関係から非常に難しいと考えております。</p>
<p>市道41号線および緑町コミュニティセンター前の道路への大型車(巨大なダンプカー等)の進入制限、速度制限を行う。(緑三)</p>	<p>全体的な道路体系の中で市道41号線が担うべき役割を整理し、また現状を把握しながら交通管理者と協議をしていきます。</p>
<p>緑町三丁目内にある市の資材置き場を撤去し、公園として整備する。(緑三)</p>	<p>全体のまちづくりの中で、施設・周辺整備協議会を通じて、庁内推進本部で可能性を検討します。</p>
<p>テニスコートは広い割に2人しか利用できないものであるが、なくなることはあるのか。スポーツ振興事業について意見がある方もいる。市のスポーツ政策全体で考えることが必要。(パ)</p> <p>テニスコートの整備に予算をかけているのなどを見ると、街区全体で見直すと言っても、スポーツ施設は変わらないのだろうと地域は見る。そういうことも考慮して欲しい。(け)</p> <p>現在あるスポーツ施設については市民が利用しやすい地域に分散、新設をすることも検討すべきだと考えます。そうすることで、現在違法あるいは不法駐車で迷惑を被っている地域からの苦情解決にも繋がるでしょう。 (緑二)</p>	<p>他市と比較して当市では人口当たりのテニスコート数が少ないという現状や、教室利用が多いため個人利用の枠が少ないという意見があります。</p> <p>庁内推進本部には教育委員会も組織に入っております。施設・周辺整備協議会の協議を踏まえて、庁内でも横断的に調整を図っていきます。</p>

<p>広報・啓発活動について</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回答</p>
<p>現在余熱利用として総合体育館の空調やプールで利用されており、年間のべ40~60万人の人が利用している</p>	<p>先日提案をいただき交渉をいたしました。申込書については、その場で書いて提出するので利用者の手元に残</p>

<p>のだが、余熱によるものであり、周辺の皆さんが大変な 思いで、いわば妥協のもとで、この地に建っており、そ の余熱が利用されているということを知りて欲しい。 (緑) スポーツ施設利用者には快適に利用できる施設への冷 暖房がクリーンセンターからの余熱還元であることを 自覚できる工夫もするべきです。(緑二)</p>	<p>らないため断念しましたが、ポスターを貼りました。し かし、これはあまり目立たないものであったので現在改 善を考えております。</p>
<p>ごみは戸別収集になって、捨ててしまえばその後は知ら ないという市民の人もおり、ぜひ市民全員に自分のこと としてごみの最後までを考えてほしい。(緑) 関心のある地域は限られており、そこから離れると全 く、そんなことに関しては関係ないというのがある。全 市で取り組むということであれば、それなりの対応をし て欲しい。皆さんに関心を持ってもらうためには、「今 度の施設はダイオキシンでいっぱいだ」ということでも 書いたら良い。(パ) 一番関心を持ってもらいたいのは、ここ以外の人たちに 関心をどのように持ってもらえるかという事。(け) 市が「ここ」と決めると市民は関心を持たない。全市の 関心を集めるのであれば、横河電気に建設するなどと言 うしかない。(け) ごみ処理場だけの話になると関心は低いかなと思う。今 までも安全にこられたので、建て替えるということにあ たって若い世代にとっては余り不思議には思わないだ ろう。だから今回こうやって野球場もしばらく使えない よということになると、えっと思う人たちも増えてく る。(け) 多くの市民と、一部利害関係のある方、関心のある方、 市の関係者と折衝のある方との格差を感じます。パブリ ックコメントを見ると、一つひとつ「ああ、そういう問 題があるのか」と感心させられます。まとめ方で苦勞を 察します。集約する方法を考えて下さい。(コ) 全市民への周知は市報ばかりでなく武蔵野市の発行す るさまざまな媒体を駆使して徹底するしくみを検討す るべきです。(緑二)</p>	<p>クリーンセンターの建て替えについての関心は、地域 によって違い、離れれば離れるほど関心が薄くなって いる現状があります。今回のクリーンセンターの建て替 えというのは、全市民の問題であると考えており、昨年か ら各地域でコミセン勉強会を行い、中間のまとめ、最終 報告書の説明会も各地で行い、市報・ケーブルテレビ・ FM など、あらゆる方法で伝えています。また、クリー ンセンター建て替えについて、節目ごとに必ず大きな紙 面を割いて広報を行っております。 先日実施いたしました市政アンケートにおいて、「武 蔵野市の最近の取り組みの中で、知っているもの」とし てクリーンセンターの建て替えは第3位(約45%)で あり、少しずつ周知されていることが確認されました。 しかし、まだまだ足りないので引き続き広報や啓発活 動を推進してまいります。</p>
<p>市議会議員はどのように考えているか。去年から行った コミセン勉強会に出席した市議会議員はごく数名。市議 会議員にどのように関心を広げていくのか考えて欲し</p>	<p>これまでも、建て替え計画については市議会に説明を させていただいております。「市の基本的な考え方(案)」 の説明をした時には、出席議員の全員が発言をするとい</p>

(緑) 緑町コミセン説明会 / (パ) 緑町パークタウン説明会 / (け) けやきコミセン説明会 /
 (境南) 境南コミセン説明会 / (吉東) 吉祥寺東コミセン説明会 / (西久) 西久保コミセン説明会 /
 (コ) パブリックコメント / (緑二) 緑町パークタウン自治会・意見書 / (緑三) 緑町三丁目町会・意見書

い。(け)	う異例の会となり、関心の高さが伺えました。
<p>小学校4年生の見学がクリーンセンターに来ていると思うが、ごみの問題や環境の問題を、教育委員会と連携を持ちながら、環境教育に力を入れて欲しい。小学生の頃から関心があると、お母さんたちがごみの出し方が違うと子供から言われるくらいにして欲しい。(吉東)</p>	<p>次世代を担う子どもたちへの環境教育は大変重要であるととらえています。クリーンセンターの施設見学の他にも、「ごみ探検隊」等の事業や「ごみと生活」副読本の作成、学校への出前講座など教育委員会とも連携しながら取り組んでいます。また、今後、実施を検討しているパイロット事業には環境教育の視点も取り入れたいと考えております。</p>
<p>工場は、練馬区と西東京市は近いのだが、あちらの広報にも載せるべき。市内だけを対象にしているのは役人的な縦割りだと思う。(境南)</p>	<p>練馬区や西東京市にも情報提供をするべきだと考えております。環境影響調査を行うときには、説明責任があり、今回正式に用地を決定したので、西東京市や練馬区等の近隣自治体へ報告にまいります。</p>
<p>新クリーンセンターは、現クリーンセンターの老朽化に伴って、より安全で、より環境に優しい、新たなゴミ焼却場を市役所北エリアに建て替えるだけのものであり、新クリーンセンターの建設事業を、武蔵野市民13万人の共通の課題にする必要はないと考えます。(コ) 今回、武蔵野市は、「全市的な取り組み」というコンセプトを提案されましたが、今後、何をもって全市的な取り組みと判断するのでしょうか。また、全市的な取り組みと選択された事業は、すべて今回と同じような事業展開を行うのでしょうか。(コ)</p>	<p>より安全で、より環境に優しい施設として運営するためには、ごみを出す全市民の方々の協力により、ごみ減量や分別の徹底が図られる必要があります。そのため、全市民共通の課題として考えております。全市民に共通の課題である場合、全市的な取り組みとなります。</p>
<p>ごみ処理やリサイクルの仕組みが楽しみながら理解できる展示施設や見学コースの設置(緑三) 新施設から4Rの優先順位が理解できるしくみや一人一人が今何をすべきかが自然に身につく環境拠点としての機能を盛り込むことが重要です。(緑二) 新施設については、ここにあることで子供や親にとって興味のわく仕組みづくりをすべき。(パ)</p>	<p>地域に開かれたオープンな施設として、市民の方々にとって入りやすい場所にします。ご提案を参考として、その具体的な内容について「施設・周辺整備協議会」を中心に協議させていただきます。</p>
<p>運営協議会活動を市報に定期的に掲載するなど、全市民が理解できるような広報活動を充実させる。(緑三)</p>	<p>本年10月に市のホームページに運営協議会の活動を掲載したところですが、さらに市報や季刊むさしのなどを活用し、運営協議会の活動を周知してまいります。</p>
<p>クリーンセンターを整備した経緯を綴った絵本を制作、出版し、市内の幼稚園、保育園、学校に配布する。(緑三)</p>	<p>ご意見を受けて、今年度末までに制作し、来年度には配布することが可能となるよう調整中です。</p>
<p>住民登録の際に、必ずクリーンセンター窓口に出向き、ごみ処理の現状についてのレクチャーや施設見学する</p>	<p>ご意見を受けて、過去の経緯やごみ処理の現状、ごみ減量が急務であること、クリーンセンターの見学を薦め</p>

(緑) 緑町コミセン説明会 / (パ) 緑町パークタウン説明会 / (け) けやきコミセン説明会 /
 (境南) 境南コミセン説明会 / (吉東) 吉祥寺東コミセン説明会 / (西久) 西久保コミセン説明会 /
 (コ) パブリックコメント / (緑二) 緑町パークタウン自治会・意見書 / (緑三) 緑町三丁目町会・意見書

<p>ことを求める。(緑三)</p>	<p>るチラシを作成いたします。3月より住民登録の際に配布いたします。</p>
<p>クリーンセンターを楽しみながら見学できる、スタンプラリーを実施する。(緑三)</p>	<p>楽しみながら学べる仕掛けを考える事は大切であると実感しており、スタンプラリーの実施、パソコンで行う子供向けクイズの作成について計画中です。</p>
<p>例えば武蔵野市への転入者には分別や減量の徹底をどんな方法で知らせるか、転出者へは転居時のごみの適正排出をどのように守らせるか等具体的な周知方法を考えねばなりません。市内24000ヶ所のごみ停留所(戸建も含む)の状況を多治見方式で職員が把握しながら武蔵野市の方針を理解してもらうような覚悟が必要でもあります。それが整備用地周辺住民に対する誠意を示すことであり、歴史的苦渋の決断をしたことへの共感となるでしょう。(緑二)</p>	<p>現在、転入者の集中する3月末から4月初旬にかけ、分別のルールを理解してもらい、円滑にごみを出すことが出来るようになること、ごみの減量や発生抑制について考え、家庭での実践につながるきっかけとしてもらうことを目的として、市役所の玄関スペースにてごみ分別案内所を設置する取り組みを行っております。</p> <p>今後、転居時のごみの適正排出について周知することや、市職員全体のごみに対する意識の向上など、ご意見を参考に考えていきたいと思っております。</p>

<p>ごみ減量・資源化への取り組み</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回答</p>
<p>お祭りでは大量の割り箸が出るし、サラリーマンとしては割り箸は切っても切れないので、ぜひそれらを資源化して有効活用して欲しい。(緑)</p>	<p>割り箸について、間伐材の利用による森林整備の促進なども考えられますが、市役所としてはマイ箸の使用を推進しています。市民団体の「クリーンむさしのを推進する会」では全市的な取り組みとして、地域のお祭りで使用した割り箸を集めて製紙会社に送っています。</p>
<p>クリーンセンターの建て替えを機に、各課連携を取って、下水の廃熱なども利用して考えてみてはどうか。地域の起業が可能な形で、東アジアにも発信できる実証実験的な取り組みをしてみてもどうか。(緑)</p>	<p>新エネルギーについては積極的に推進をしたいと考えています。太陽光発電設備については、今年度で全小学校への設置が完了しますが、今後も施設の改修などに合わせて、さまざまな可能性について検討してみたいと考えています。</p>
<p>ごみが確実に減っているようなグラフが示されたが、毎日の生活の中で実感はない。ガクッと減った部分は有料化のとき。どのような対策を取って行くのか。(パ) 環境美化推進員で、クリーンむさしのを推進する会にいる。ごみ減量が前提とあり、市としてはそれが一番良いのであろうが、我々の立場から見ると一人ひとり徹底するのは難しい。ごみは減っているというが、まだまだ難しいところもあり、ごみ減量には特効薬はない。役所としてもしっかりと考えて行って欲しい。(吉東) 今は、「市がやってくれるから」という時代ではない。</p>	<p>ごみは、生活スタイルや生産されるものによって、変化していくと考えています。その意味では、長いスパンでごみ減量や適切な資源化を検討し、実行していくものと考えています。また、ごみは全市民が出すもののためには、全市的な取り組みが必要です。どうすれば全市的な取り組みになるかを十分に検討する必要があると考えています。またこのような取り組みを継続します。</p> <p>現在環境問題に対する関心が高まっており、環境問題とごみの問題は密接につながっているため、今後一緒にPRをしていきたいと考えております。すぐに目に見え</p>

<p>市も、市民と協働をしながら行っていく取り組みを続け、ごみの減量を一步ずつ進めていって欲しい。(パ)</p> <p>ごみの問題というのは、水面下で積み重ねていくものである。なかなかすぐに変化のあるものではない。減量協議会において、過去の数字も含めて「紙・生ごみ・プラ」について、どういう努力をすればどれくらい減らしていけるかの議論をし、その延長線上に「レジ袋削減会議」が出来、現在レジ袋を削減するキャンペーンをしている。また、クリーンむさしのを推進する会によって、生ごみ活かす君によって生ごみを減らす取り組みが広がっていている。また、行政の回収から集団回収に移行する取り組みもある。最近では、行政は聞く耳を持ち、取り入れるべきものを取り入れている。だから、何もしない、変わらないというのはどうかと思う。ごみの問題は、長いスパンで見なければならぬ。かつての建設時、ぎゅうぎゅう詰めの日程で重要なことを決めていき、周辺の意見しか聞けなかった時代から考えると、今回はすでにコミセンを廻るのも2巡目くらいであり、丁寧に全市の意見を聞いている。そういったことも評価をしたい。行政には、これから先、次世代のことや分散のことなど、同時進行で忙しいだろうが頑張ってもらいたいし、期待をしている。(け)</p> <p>今回のクリーンセンター建て替えを機に、ごみの減量などを市が本気で考えていることが市民に伝わっており、ありがたく感じている。コミセン勉強会も継続することで、是非お願いしたい。(西久)</p> <p>将来増加が予測される 5000 人の市民に対する施策も今から計画と準備をしなければなりません。(緑二)</p>	<p>た変化が出るものではありませんが、多摩地域で武蔵野市民の一人ひとりが出すごみの量はワースト4位であるという事をはじめ、ごみ処理にかかる経費や温室効果ガス等による環境負荷等について、啓発活動を行っていきたくと考えております。</p>
<p>サミットストアに対して、行政はどのように働きかけを行っていて、サミットストアはどのような対応をしているかがあまり見えないが、あまり働きかけをしていないのであれば、是非今後働きかけて欲しい。(パ)</p>	<p>サミットストアについては、他のスーパーと同様に指導を行っております。</p>
<p>ペットボトルを運ぶのは空気を運ぶようだと思ったが、潰しても元に戻る。潰しても意味が無いのではないかと。(パ)</p>	<p>ペットボトルは容器包装リサイクルを推進するため、瑞穂町まで運んでいます。ごみ収集車に破砕刃を付けて圧縮・減容する取組みを行っておりますが、一定の限界があります。やはり、市民の皆様にご協力をいただきまして、少しでも潰していただくことで、収集車の往復による環境負荷が軽減されると考えております。</p>

<p>桜堤に生ごみ処理機があるが、緑町の団地には緑が多く、落ち葉が多いので、こちらにこそ必要なのではないか。(パ)</p> <p>生ごみの資源化については、ここ(緑町パークタウン・都営住宅)のような大きい場所の方が、効果が上がる。ツインタワーなど民間の場所でも、生ごみ堆肥化を実行してもらえよう働きかけて、資源化について始めて欲しい。また現在ある生ごみ処理機の機械も老朽化するのだろうが、どう対応するかは見えてこない。(パ)</p> <p>山梨県韮崎市の「スーパーやまと」のような、生ごみが循環して畑になるような仕組みを作ってもらえればと思う。(パ)</p> <p>生ごみ資源化について、桜堤などに生ごみ処理機があるが、あそこだけにあるのは不公平。やるならば全体でやるべき。CO₂ の削減のためには、今の課題としてやってもらいたい。(け)</p> <p>3年ぐらい前に生ごみを堆肥にして2tほど貰い、自分の畑で使ったところ、菜っ葉類に非常に効き目がある。是非進めて欲しい。(け)</p>	<p>生ごみの堆肥化は重要な課題です。「生ごみ活かす君」という電力を使わない生ごみ処理のツールも「クリーンむさしのを推進する会」の方々のご尽力により、戸建て住宅を中心に広まっております。集合住宅ではまとまった生ごみを集めることが出来るため、戸建住宅とは異なる方法によって資源化することについても検討が必要であるかと考えております。</p> <p>桜堤では建て替えを機に生ごみ処理機を付けましたが、現在は一般家庭ごみの有料化が行われており、一部の市民だけが生ごみを無料で排出できるようになっているので公平性に欠くという指摘があります。また、生ごみを堆肥化して市内の農家に使ってもらい、朝市で野菜を出してもらうという取り組みを行っておりますが、都市化が進みなかなか協力していただける農家が少ないという現状があります。生ごみや落ち葉の資源化においては、出来た堆肥の利用先を考える必要があります。そこで、堆肥の利用先も考えながらこの事業を見直し、今後は全市域を対象とした生ごみの堆肥化事業の実施を現在検討中です。庁内の横断的な取り組みである「ごみ減量・資源化プロジェクトチーム」により、パイロット事業を計画してまいります。</p>
<p>「生ごみ活かす君」の話があるが、かなりPRをして当コミセンでも行っているが、これを熱心に進めていった場合、どのくらい焼却ごみを減らせるか。効果があるということであれば、やる方も広める方も励みになる。数値目標があれば。(吉東)</p>	<p>現在、クリーンむさしのを推進する会では100世帯程度普及しています。今度は200世帯を目指すとのことです。市としても協働して普及活動を行ってまいります。特に、生ごみは水分量の多いごみであり、減量する事によって焼却炉への負荷が減ります。</p> <p>しかし、武蔵野市は単身世帯が多く、「生ごみ活かす君」の利用が可能な市民の方々ばかりではないので、様々な形で生ごみの資源化を図りたいとして、現在ごみ減量・資源化プロジェクトチームにて検討中です。</p>
<p>剪定枝と生ごみの資源化プロジェクトについて、その中身。生ごみであれば、堆肥化・飼料化・メタン化などあるが、メタン化は含まれているか。(西久)</p> <p>メタン発酵施設は市内で可能か?(吉東)</p>	<p>経費や安全面、用地確保の点からメタン発酵施設を市内に建設することは非常に難しいと考えており、生ごみについては堆肥化を検討中です。但し、市内で堆肥化を最後まで行うのは難しいため、二次発酵を市外で行う方法や、二次発酵を必要としない方法についても検討中です。</p>
<p>CO₂ の問題について今は絶好のチャンスであり、例えば枝木は、各家庭から出るものについて5分の1くらい</p>	<p>今は市民の方々も環境問題への関心が高まっている時期であり、当市でも取り組みを強化しています。燃や</p>

<p>しか資源化されておらず、残りは燃やされている。これは、全量資源化して欲しい。(け)</p> <p>ワンウェイのものは、この地域では使わないという姿勢などが今回見られない。市民全員が集団回収に参加すれば30%くらいはごみ減量が達成できる。そうすれば、10億円くらいは税金を節約できるのではないか。環境問題というのはここ数年変わってきており、あと10年延ばせると、すごく大きな状況の見極めが出来る時代。(け)</p> <p>燃やさないごみについて、現在月に2回の回収になったが、月に1回程度で良い。それで余った予算で剪定枝の資源化をするべき。(け)</p> <p>全てのごみの回収回数を減らすべき。(パ)</p> <p>資源物の回収について。市の回収・回収業者・集団回収・新聞社の回収など、同じものについても何種類かの車が巡回している。これは無駄である。協力して一本化できないだろうか。(け)</p> <p>(上記意見を受けて)新聞について、マンションの玄関前に出せば新聞屋さんが持っていってくれるが、市の回収だと1階まで下ろさなければならない。新聞は重いので、高い階の人たちにはそういう問題がでるのでは。(け)</p>	<p>さないごみの回収回数を減らしたことによって大幅なコストの削減になりましたが、現在その他の資源物を含めた全体の回収回数について検討中です。</p> <p>拡大生産者責任の観点から、市としては販売店による新聞の回収を促進したい意向ではありますが、厳しい経済状況の中で販売店も自主回収にはあまり積極的ではない現状です。そういう意味でも、集団回収をいっそう促進していく必要があり、多くの市民の方々が集団回収に参加できるような仕掛けも必要であると考えております。</p> <p>剪定枝について、3袋より多いもので連絡をいただいたものは、現在市が収集して資源化しています。3袋以下のものは燃やすごみとして出していただいています。これを分別収集することも考え試算しますと、現在行っている戸別収集の形で回収すると、かなりコストが大きくなります。何らかの形で収集して資源化することが出来ないか、現在ごみ減量・資源化プロジェクトチームやごみ総合対策課にて検討中です。費用対効果を考えつつ進めていきたいと考えております。</p>
<p>イベントを行うと最終的にはごみが出てしまう。市のイベントにもクリーンむさしのの人たちとバガスや食器の貸し出しなどを取り入れて欲しい。(け)</p>	<p>イベント等のごみについて、今年、クリーンむさしのを推進する会と市で相談をして、市のイベントや地域で実施しているイベントについて、ごみの無い祭を目指し、バガスやリユース食器を使用する取り組みを始めたところです。ご意見・ご提案等ありましたら是非お寄せ下さい。</p>
<p>し尿処理施設の縮小が予定される湖南衛生組合の施設は関係団体との協議を大切にしながら計画を見直し、非焼却施設としての活用も検討する。(緑二)</p> <p>市は、し尿処理を湖南衛生組合で一部行っているが、し尿処理はほとんどが下水道にて処理されており、将来的にはその土地を生ごみの処理などに有効利用することなどは計画のどこかに位置づけられているか。(西久)</p> <p>バイオマスを国も検討するようなので、湖南衛生組合の施設を市民と協働で有効に使うことを考えてはどうか。(パ)</p>	<p>かつては汲み取りが一般的であり、し尿処理を湖南衛生組合で行っていましたが、今は下水道が発達してほとんど利用されておらず、7.3万㎡の一部しか利用していません。しかし、当市でも数軒ではありますが汲み取りを行っており、さらに仮設のトイレについては湖南衛生組合での処理が必要であるため、5市で共同処理を残す必要があります。そのため共同運営している5市で、この施設をコンパクトにして、余った土地を有効利用するよう検討中です。5市の合意が必要であり、今後1～2年で方向性を協議していきます。</p>

<p>パークタウンの清掃で、落ち葉がたくさん出る。緑化率を下げないためにも、将来的に落ち葉の資源化についてのシステムを庁内で横断的に検討して欲しい。(パ) 落ち葉の資源化は早急に行うべき。(パ) 落ち葉だけでのリサイクルをボランティアで行うことは難しいか。(パ)</p>	<p>落ち葉の堆肥場について、それぞれ別々の市役所内担当課や団体が取り扱っていることから、ごみ減量・資源化プロジェクトチームを中心として全庁的に整理をし、制度などを検討し、資源化を推進したいと考えております。</p>
<p>出来るだけプラスチックを燃やさないようにすべき。(パ)</p>	<p>現在、ペットボトルや資源化できるプラスチックについては、資源化をしております。しかし、資源にならないプラスチックについては焼却しています。 また新施設では発電の導入を検討しており、サーマルリサイクル(ごみ焼却熱利用)も考えられます。しかし今後、資源にならないプラスチック(汚れの落ちないもの)の処理方法については今後十分な検討が必要と考えています。</p>
<p>ごみ減量・資源化プロジェクトチームの情報を市民に出して欲しい。行政は人事異動で人が変わるが、住民は長く住む。(パ)</p>	<p>ごみ減量・資源化プロジェクトチームについては、年度内を目処に途中経過を報告し、市民の皆様と協働してパイロット事業の実施を行い、全市的なごみの減量・資源化について実現を目指していきたいと考えております。なお、これらの情報につきましては、何らかの方法で周知を図るように検討します。</p>
<p>地域ごとに、ごみ処理を現在地に依存していることやごみの減量化、分散処理化するために地域でできる事について検討する機会を持たせる。(緑三)</p>	<p>コミセン勉強会を継続し、内容を変化させ、分散処理化するために各地域でできることを検討する場とします。分散処理を行う際に、他地域で行っていただけると考えられることを検討し、そこから抽出された処理の、どの部分を当該地域で請け負うことが可能であるか、住民参加で検討を重ね、分散処理の実現と、ごみ減量・資源化に対する意識の向上を図ります。</p>
<p>ごみの減量や4R運動を展開されているが、なかなか反映されない実情にある。ごみ量など数値化し、地域別にその減量率を競争し、優秀な地域には表彰するなど協力を推進することを提案したい。分別排出徹底が先決とは思うが。(コ) 各国別温室効果ガス排出量削減目標に習い、市内をコミュニティエリアや小学校区など、いくつかの地域に区分し、地域ごとのごみ削減目標を定めて、地域におけるごみ削減の取り組みと責任を明確化する。(緑三) 各地域に、古着、古紙以外の再生利用可能な品物(子ども用品、おもちゃ類、日用雑貨など)の回収の窓口を設</p>	<p>年間約 5,000 tのごみ減量化は必ず実現すべきと考えており、いただいたご意見は是非参考にさせていただきたいと思います。 地域ごとに人口、世帯、居住形態等の特性が異なることから、一概に比較するのは困難な側面がありますが、地域ごとのごみ排出量を把握することは、減量・資源化施策を検討するうえにおいて、参考になるものと考えております。 まだ、使用できるものを必要としている方に再利用していただく仕組みとしては、年に4回フリーマーケットを市が主催して実施しているところです。新たに子ども用</p>

(緑) 緑町コミセン説明会 / (パ) 緑町パークタウン説明会 / (け) けやきコミセン説明会 /
 (境南) 境南コミセン説明会 / (吉東) 吉祥寺東コミセン説明会 / (西久) 西久保コミセン説明会 /
 (コ) パブリックコメント / (緑二) 緑町パークタウン自治会・意見書 / (緑三) 緑町三丁目町会・意見書

置する。(緑三)	品等の回収窓口を設置することについては、実施主体を含め、検討が必要と考えております。
生ごみ、落ち葉、剪定枝のパイロット事業等、今後は非焼却処理についても模索する。緑化環境センターや生活経済課の事業による緑被率の向上、市民農園の推進が実施されているが、それに伴い排出される落ち葉、剪定枝、除草、収穫後の残渣物は焼却しないで資源とするとしている。発生予測と利用予測を検討し有効に活用するしくみづくりが望まれる。(緑二)	現在、ごみ減量・資源化推進プロジェクトを設置し、生ごみや剪定枝葉の資源化について、庁内で横断的に検討しているところです。生ごみ・剪定枝葉の資源化のための取組みの試行を早期に実施していきたいと考えています。
武蔵野市民が一人一日に排出するごみ量は多摩地域各自治体の平均からすると武蔵野市はワースト4位で、この実態を広く市民に伝え、新クリーンセンターが稼働する平成29年までに一人あたり何グラム減量する必要があるかの目標値を掲げて具体的な行動を促すような周知が大切です。さらに、一般廃棄物処理基本計画で示されている平成29年の予測値680グラムの途中修正は必須といえるでしょう。(緑二) ごみ処理基本計画で680gを目指すとなっているが、武蔵野市は現在720gで多摩全体の平均は650gであり、甘いのではないかと。650gを目標にすべき。(パ)	「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」は10年に一度策定をいたしますが、その途中である5年経過する時点を目安に本市のごみ排出量をはじめ、社会情勢の変化等を見据えて、計画目標等の見直しを行う予定であります。予測値よりもごみ減量が進んでいる中で、途中修正は当然行うべきものと考えており、具体的には平成24年度に見直しについて検討する予定です。 ごみチャレンジ700gとして推進してきたように、具体的な数値目標を掲げて、ごみ減量に向けた周知・啓発活動を行っていきたくと考えております。

新施設の運営	
意見・質問	回答
PFIについて、全国のいくつかの場所で行っているが、行政が責任を持って行うのと民間が行うのとは違いがあり、民間では利益追求型になって、地域住民の安心・安全が侵されないか不安である。(緑)	今後、経費的にも効率的な面が大切であり、民間のノウハウを借り、検討する必要もあると考えています。しかし「安心・安全」が最優先であります。また、今後管理責任は市であることを明確にいたします。
エコセメント事業については現在の生産量や利用量、利用箇所を把握しながら将来への予測、見直しの適切な判断ができるようにしておく。(緑二)	現在、焼却灰は全量エコセメント化されており、道路や公園、下水道の土木建築資材として、適切に利用されています。今後も引き続き、利用状況や施設の状況などを確認していきます。

その他	
意見・質問	回答
パブコメに対する意見について。意見ごとに地域がどこであったかについて書いてあれば良かった。(け)	ご意見を参考に、今回は意見ごとの地域を記させていただきます。
武蔵野市でどういうクレームが出たかという話を聞い	ご意見を参考に、「相談・苦情処理簿」を作成しまし

(緑) 緑町コミセン説明会 / (パ) 緑町パークタウン説明会 / (け) けやきコミセン説明会 /
 (境南) 境南コミセン説明会 / (吉東) 吉祥寺東コミセン説明会 / (西久) 西久保コミセン説明会 /
 (コ) パブリックコメント / (緑二) 緑町パークタウン自治会・意見書 / (緑三) 緑町三丁目町会・意見書

<p>たが、そういうデータが無いという話であった。(境南)</p>	<p>た。そのデータや対応を蓄積し、活用できるようにいたします。</p>
<p>ごみ有料化以後、清掃関連職員の給与などは上がったのか。大変な仕事だとは思いますが、それなりの給与などは保障するべきであろうが、それらの経費を抑える努力をすれば有料化しなくても対応できたのではないか。(境南)</p>	<p>職員人件費は、定数削減等により年々下がっています。ごみ処理経費を抑制するため、いかに効率的で効果的なごみ処理ができるか、市では常に検討しています。</p>